

Odds Park Club

Graded Dirt Races

- 4/ 3 兵庫女王盃 JpnⅢ(園田)
- 4/ 9 川崎記念 JpnⅠ(川崎)
- 4/16 東京スプリント JpnⅢ(大井)
- 5/ 1 兵庫チャンピオンシップ JpnⅡ(園田)
- 5/ 5 かしわ記念 JpnⅠ(船橋)
- 5/ 6 名古屋グランプリ JpnⅡ(名古屋)
- 5/14 エンプレス杯 JpnⅡ(川崎)
- 6/18 関東オークス JpnⅡ(川崎)
- 6/25 さきたま杯 JpnⅠ(浦和)

vol.77

2025.4~6

名古屋競馬特集

ジョッキーインタビュー
塚本征吾 騎手



私的名馬録

小柄なド根性娘 ピッチシフター

2012年5月に門別競馬場でデビューしたピッチシフターは、2戦目で初勝利を挙げ、10月のエーデルワイス賞JpnⅢでは11番人気ながら2着に健闘。北海道のシーズンを終えて愛知に移籍しました。移籍初戦はその年の12月17日。2歳にもかかわらず、古馬のA5組に編成されたのです。当時の名古屋競馬場は土古にあり、弥富トレセンからの輸送でピッチシフターにとっては初めての場所。しかも初の古馬対戦ということもあって別の馬を本命にしていたのですが、終わってみれば2番手から早め先頭の圧勝劇！ 425キロの小柄な2歳牝馬がこんなに強いなんて……と、心底驚きました。

A級とはいえメインではない平場のレースをなぜこんなに鮮明に覚えているのかといえば、このレースが『KBS京都 展望プラス 澤ブルー賞』という協賛レースだったから。2012年10月から地方競馬の認知を広げるために、KBS京都『競馬展望プラス』という番組がスタート。その番組で私と一緒にMCをしていた澤武博之さんが、初めて名古屋競馬場に行くタイミングで協賛したのです。管理する川西毅調教師とご縁が繋が

り、そこからピッチシフターを追いかけました。

2歳の年末にライデンリーダー記念（笠松）で初重賞制覇。3歳初戦で園田クイーンセレクション（園田）制覇と瞬く間に重賞連勝を果たすと、3月には阪神競馬場のチューリップ賞GⅢに挑戦。14着に負けたものの、大きな経験を積みました。その後も活躍は続き、NARグランプリ2013で3歳最優秀牝馬、NARグランプリ2014で4歳以上最優秀牝馬を受賞。5歳の秋に引退するまで37戦12勝、うち重賞7勝という輝かしい競走馬生活を送りました。

私にとって一番印象的だったレースは、2014年のサマーチャンピオンJpnⅢ（佐賀）。4歳になったピッチシフターは絶好調で、4月に東海桜花賞を勝ち、かきつばた記念JpnⅢ（名古屋）ではみずから動いて行つての僅差4着と見せ場十分の内容でした。この年、川西調教師はレース選択についてとても悩んだと言います。「牝馬同士で戦うグランダム路線は意識していましたが、ダートグレードも狙える力があると感じ、サマーチャンピオンを最大目標にする方を選びました。結果的に勝つことはできませんでしたが、JRAの強豪相手によく2着に頑張ってくれましたね」。水が浮くバシャバシャの馬場で行われ、2番人気だったエーシンビートロン（JRA）がスイス



佐賀記念で2着に健闘したピッチシフター（右から2頭目）

イと逃げ切り勝ち。2着争いは3頭大接戦の中、タガノジנגガロ（兵庫）とガンジス（JRA）という500キロ超えの牡馬の間から、424キロのピッチシフターがハナ、アタマの差で2着をもぎ取ったのです。自分よりもかなり大きい牡馬たちの間に入っても怯まず、逆に闘争心に火がつくピッチシフター。最後まで諦めない、ハートの強い馬でした。

当時の地方競馬は、どん底を抜けて売上がじわじわと上昇し始めた時期。しかしJRA勢に対抗できる馬は少なく、ピッチシフターの活躍は大きな希望でした。引退から10年が経っても、大切な思い出です。

赤見千尋（あかみ ちひろ）

1978年群馬県生まれ。1998年に高崎競馬場で騎手デビュー。2005年北関東の競馬場がすべて廃止となり騎手を引退。現在は競馬リポーターとしてグリーンチャンネル『アタック!地方競馬』『地方競馬中継』などに出演。

≡ Pickup!! ≡ 注目重賞

第2回ネクストスター北日本

4月6日 3歳 水沢1,400m

ダート競走の体系整備に伴い、3歳短距離路線の充実を目的として2024年度からはじまった3歳のネクストスターは、北日本、東日本、中日本、西日本の4ブロックで実施され、『3歳スプリントシリーズ』として勝ち馬には兵庫チャンピオンシップJpnⅡへの優先出走権が与えられる。

ネクストスター北日本は、北海道と岩手の持ち回りで施行。24年は門別1200mで実施されたが、岩手からの遠征馬はなく、地元北海道所属馬15頭が出走。好位からレースを運んだストリームが直線で抜け出した。ストリームはその後、地元古馬重賞を2勝し、笠松グランプリを制覇。2着ヴィヴィアンエイトは北海道スプリントカップJpnⅢで4着に善戦するなど、その後も短距離を舞台に活躍している。

今年は水沢競馬場1400mが舞台。岩手

の3歳世代は、10月のネクストスター盛岡で1、2着だったポマイカイとサウザンドマイルがその後出走しておらず、年末の金杯ではラヴェイが重賞初制覇。2歳時に重賞を複数制した馬がいない混戦となっている（2月末現在）。昨年、門別開催だったネクストスター北日本は兵庫チャンピオンシップJpnⅡまで中10日という日程だったが、今年は中3週と間隔があるため、大一番に向けても重要な一戦となりそうだ。

第31回東海クイーンカップ

4月10日 3歳牝馬 名古屋1,700m

1992年に創設。当初は冬に実施されていたが、休止期間（2000～02年）を経て夏に移行した03年からは他地区との交流に。春に移行した12年からはグランダム・ジャパン3歳シーズンの対象レースとして地方全国交流となった。距離は、17年まで1600m、21年まで1800mだったが、名古屋競馬場が移転した22年からは1700mとなっている。

名古屋所属馬は過去10年で7勝と優勢だが、グランダム・ジャパン3歳シーズンで総合優勝はなく、13年にこのレースを勝利したウォータープライドの総合2位が最高順位となっている。また17～19年に

は友森翔太郎騎手が所属の塚田隆男厩舎の管理馬で3連覇を達成している。

昨年は2番手を追走した地元のニジイロハービーが早め先頭から押し切って勝利。続く園田・のじぎく賞も制し、グランダム・ジャパン3歳シーズンの対象レースを2勝したが、20ポイントで総合4位に終わった。今年の名古屋所属の3歳牝馬には、昨年11月の地方全国交流・ラブミーチャン記念を制し、1月の新春ペガサスカップ、2月のスプリングカップとともに3着と牡馬相手に健闘しているエバーシンス（角田輝也厩舎）や、1月の梅桜賞でそのエバーシンスを破り、デビューから3連勝を決めたセトクルール（川西毅厩舎）など出走してくれば有力となりそうだ。



24年は地元ニジイロハービーが勝利

ばんえい競馬



場番号 帯広03#

●熱戦続くシーズン終盤

ばんえい競馬・正月恒例の高重量戦『第47回帯広記念(BG1)』は、障害巧者のコウテイが重賞初制覇。王者メモロボサップの追撃を凌いでの見事な逃げ切りだった。古馬重賞初参戦が最大重量1トンを曳く23年のばんえい記念(BG1)だった異色の経歴。スピード決着では分が悪いが、安定した障害力を生かせる高重量戦では今後も注目される存在となる。敗れたメモロボサップはこれで3年連続2着となぜかこの重賞では勝利に恵まれないが、続く『第46回チャンピオンカップ(BG2)』では、最大110キロのハンデ差を克服して貫禄の勝利。まだまだ



1月2日 帯広記念 コウテイ

ばんえい最強馬の地位は揺るがない。

明け5歳のナンバーワンを決定する定量戦『第18回天馬賞(BG1)』は、タカラキングダムが持ち味の鋭い末脚で差し切って勝利。柏林賞、銀河賞と合わせての4歳シーズン三冠達成は、キングフェスタから2年連続となった。そのキングフェスタはチャンピオンカップ2着。ともに古馬重賞戦線を賑わせてくれることを期待したい。

3歳(明け4歳)は、三冠最終章の定量戦『第53回ばんえいダービー(BG1)』でライジンサンが復活。2歳シーズンの重賞3勝馬が今季初勝利をダービーの大



12月30日 ばんえいダービー ライジンサン

舞台上飾った。この世代はオープン馬がライジンサンと牝馬のスマイルカナのみ(2月末現在)。以下は実力が拮抗しておりそこから飛躍する馬の出現を期待したい。

文●板垣雅己(ねっとばんばキンタロー)

●ばんえい競馬重賞勝ち馬一覧 2024年12月～2025年2月

日付	レース名(条件)	距離	勝ち馬名(性齢)	騎手名	所属・調教師名
12/1	ばんえいオークス(3歳牝)	200	スマイルカナ(牝3)	西 謙一	ばんえい・鈴木邦哉
12/29	ヤングチャンピオンシップ(2歳選抜)	200	スーパーシン(牡2)	藤野俊一	ばんえい・長部幸光
12/30	ばんえいダービー(3歳)	200	ライジンサン(牡3)	鈴木恵介	ばんえい・大河原和雄
1/2	帯広記念(4歳以上)	200	コウテイ(牡8)	西 将太	ばんえい・槻館重人
1/3	天馬賞(5歳)	200	タカラキングダム(牡5)	阿部武臣	ばんえい・村上慎一
1/26	ヒロインズカップ(4歳以上牝)	200	サクラヒメ(牝7)	渡来心路	ばんえい・今井茂雅
2/2	翔雲賞(3歳牡)	200	スターイチバン(牡3)	西 謙一	ばんえい・坂本東一
2/9	黒ウリ賞(3歳牝)	200	ホクセイヒラリ(牝3)	渡来心路	ばんえい・平田義弘
2/16	チャンピオンカップ(4歳以上選抜)	200	メモロボサップ(牡9)	阿部武臣	ばんえい・坂本東一

岩手競馬



場番号 盛岡11・水沢12#

●応援騎乗ジョッキーたちの活躍

岩手競馬は12月の開催に入ってアクシデントが続出。騎手の負傷や騎乗停止が相次ぎ、フルゲート12頭の競走を組むのが精一杯の状況となってしまった。ここへ北海道から桑村真明騎手(28～31日)、また佐賀からは元盛岡所属の小松丈二騎手(～31日)、青海大樹、金山昇馬騎手(～30日)、出水拓人騎手(～29日)と4名が急遽駆けつけて年末開催に騎乗した。初日の12月28日から遠征騎手は5つのレースに勝利。メインレースでは出水、桑村、金山の3人で1、2、3着に入り、ファンの心を掴んだ。今回は異例の事態下で実現した他地区騎手の遠



12月30日 金杯 ラヴェイ

征だったが、一気に5人が加わってレースの流れが変わったことは間違いない。『期間限定』や『重賞競走日に限定』というような条件を定めず、常時自由に騎手の交流が実施できれば面白い、と感じさせた。

●異例の桐花賞を制したのは

1年を締めくくる12月31日のグランプリレース桐花賞は大激戦。のちに岩手年度代表馬に選定される、ファン投票1位のフジージューンは休養中で不在。ファン投票2位で、グレードレースを除く地元限定戦を転入後7戦7勝のヒロシクンが1番人気となったが、今回ばかりは厳しいマークを受けて失速。ゴール前で馬群の真ん中を割ったのはライアンだった。ライアンは当初「盛岡の芝を狙って」移籍ということだったが、天候悪化でダ



12月31日 桐花賞 ライアン

ート変更になったせきれい賞でマンダリンヒーローなどを下しており、水の浮く軽いダートへ強い適性を見せていた。今回の桐花賞は例年と違い雨が降る暖かさで、馬場状態も味方した。「ファン投票に入らなかったら、記者推薦で選んでくれ」と言っていた佐藤浩一調教師の言葉が今も印象に残っている。

文●深田桂一

●岩手競馬重賞勝ち馬一覧 2024年12月～2025年2月

日付	レース名(条件)	距離	勝ち馬名(性齢)	騎手名	所属・調教師名
12/9	トウケイニセイ記念(3歳以上)	水沢1600	ヒロシクン(セン5)	高松 亮	岩手・佐藤雅彦
12/16	寒菊賞(2歳)	水沢1600	競走取り止め		
12/30	金杯(2歳)	水沢1600	ラヴェイ(牡2)	山本政聡	岩手・小西重征
12/31	桐花賞(3歳以上)	水沢2000	ライアン(牡5)	小林 凌	岩手・佐藤浩一

金沢競馬

場番号 41#

写真●石川県競馬事業局

●ナイターが本格的にスタート

2025年シーズンの金沢競馬番組要項が発表された。令和7年度の開催日数は昨年度より1日増えて92日間。昨年7～8月に“ナイター4”として4日間だけ試験的に行われたナイター開催は、7月は27、29日の2日間、8月は4、5、11、12、18、19日の6日間の計8日間に拡大。19時台だった最終レースの発走時間を他場のナイター場と同じ20時台に延ばし本格的に実施される。

●2つの準重賞が重賞へ昇格

昨年度は兼六園スプリント(3歳東海・北陸交流、1500メートル)が新設された重賞レースも、新年度はさらに2レー



12月1日 中日杯 マリンデュンデュン

ス増加。これまで準重賞として行われていた金沢クイーン賞と金沢鼓門賞の1着賞金を300万円に増やして重賞へ格上げした。

7月8日に行われる金沢クイーン賞(3歳以上牝馬、1500メートル)は、これまで通りグランダム・ジャパン古馬秋シーズンの読売レディス杯(3歳以上牝馬地方全国交流、1500メートル)への地元代表馬を決めるトライアル戦として実施される。

金沢鼓門賞はこれまで夏場に行われていたが、優先出走権がかかる金沢スプリントカップ(3歳以上地方全国交流、1400メートル)が10月25日に後ろ倒しとなったため、同じく時期を変更。本番の2週間前の10月11日に同じ1400メートルで争われる。

●短距離馬に秋の目標

昨年度までの重賞日程では短距離馬が

12月28日 金沢ファンセレクトカップ2024
オヌシナニモノ

夏場以降に走れる地元重賞がなく他地区への遠征を余儀なくされた。金沢スプリントカップの施行時期が10月に変更されたことで下半期の目標ができたのは大きい。だが3歳重賞のMRO金賞(1400メートル)が行われるのが金沢鼓門賞の次週の10月19日で、勝ち馬が金沢スプリントカップへ挑むためには連闘が避けられないため来年度以降の日程調整は必要に感じる。

文●中部地方競馬記者クラブ

●金沢競馬重賞勝ち馬一覧 2024年12月～2025年2月

日付	レース名(条件)	距離	勝ち馬名(性齢)	騎手名	所属・調教師名
12/1	中日杯(3歳以上)	2000	マリンデュンデュン(牡4)	松戸政也	金沢・金田一昌
12/28	金沢ファンセレクトカップ2024(3歳以上)	1500	オヌシナニモノ(牡7)	吉田晃浩	金沢・佐藤 茂

笠松競馬



場番号 42#

写真●岐阜県地方競馬組合

●名手も認める実力馬サヴァ

東海2競馬場の馬のレベルは『名高笠低』だが、ひょっとしたら？

長らく続く勢力図を変える可能性、期待を抱かせるのが今冬、中央オープンから移籍したサヴァだ。24年6月には函館でオープンの大沼ステークスVなど、中央在籍時にトータル5勝。さらに3歳時にユニコーンステークスGⅢ・2着とタイトルにあと一歩まで迫った実績の持ち主である。

地方デビューとなった昨年12月の笠松・A級2組特別では名刺代わりとばかりに、鮮やかなまくりで悠々突き抜けてみせた。2走目の重賞・東海ゴールドカップは初経験の長丁場2500メートルで



1月23日 白銀争覇 サヴァ

伸び切れず3着に留まったが、適距離に戻ったのが1月の白銀争覇。北陸・近畿地区との交流重賞で、北海優駿2着のブラックバトラーら遠征勢を見事迎撃に成功。直線、追えば追うだけ反応し、鋭い差し脚を駆使したパワフルランで待望の重賞ホルダーに仲間入りした。

「スタートで不利があって後方からの競馬でしたが、直線で気合を入れたらギアが入った。さすがです。まだまだよくなる馬ですし、笠松所属馬で笠松の重賞を勝てたのもうれしい。強い馬が入ってきて、名古屋と切磋琢磨で東海の競馬が盛り上がるといいですね」。移籍戦からコンビを組む東海の第一人者・岡部誠騎手はエールを惜しまない。

2月の名古屋・かきつばた記念JpnⅢ



12月31日 東海ゴールドカップ フークピグマリオン

は古巣中央の上昇馬の勢いとスピードに8着完敗した。しかし「流れが緩まなかったし、短距離戦でのスピード負け。脚を道中ためられれば切れる馬。中距離なら遠征重賞でもやれると思う」と岡部騎手は前向きに捉える。今春の路線・目標は未定も、目の離せない実績馬が笠松に転入してきたのは言うまでもない。

文●中部地方競馬記者クラブ

●笠松競馬重賞勝ち馬一覧 2024年12月～2025年2月

日付	レース名(条件)	距離	勝ち馬名(性齢)	騎手名	所属・調教師名
12/12	笠松グランプリ(3歳以上)	1400	ストリーム(牡3)	渡邊竜也	北海道・田中淳司
12/30	ライデンリーダー記念(2歳)	1400	ページェント(牡2)	友森翔太郎	名古屋・塚田隆男
12/31	東海ゴールドカップ(3歳以上)	2500	フークピグマリオン(セン3)	今井貴大	名古屋・宇都英樹
1/23	白銀争覇(4歳以上)	1900	サヴァ(牡7)	岡部 誠	笠松・田口輝彦
2/4	ゴールドジュニア(3歳)	1600	ページェント(牡3)	友森翔太郎	名古屋・塚田隆男
2/20	ブルーリボンマイル(4歳以上牝)	1600	ヒメツルイチモンジ(牝5)	笹田知宏	兵庫・新子雅司

名古屋競馬

場番号 43#

●粒ぞろいの名古屋3歳勢

5月5日の駿蹄賞からいよいよ開幕する東海の3歳三冠ロード。世代頂点の東海優駿(6月4日)へ2月末現在で、最短距離にいるのはゴールドウイング賞、新春ペガサスカップの重賞2勝を含め、無傷の4連勝を飾るカワテンマックスだろう。しかし、ネクストスター名古屋を制した2歳王者のエレインアスティ、ラブミーチャン記念で一撃をさく裂させた牝馬エバーシンスら、名古屋勢には例年以上の好素材がズラリそろっている。

そんななか、一戦ごとに確実に力を蓄えてきている1頭が、ページェントだ。



1月16日 新春ペガサスカップ カワテンマックス

ゴールドウイング賞、新春ペガサスカップではカワテンマックスの後塵を拝したが、暮れのライデンリーダー記念、2月のゴールドジュニアと笠松重賞を連勝。さらには若駒に過酷な連闘スケジュールながら、2月の名古屋・スプリングカップでは、デビュー以来初めての逃げを打ち、西日本交流の強敵相手に圧巻の7馬身差Vで強烈にアピールした。

「ゲートに課題があったんですが……。気持ちよく、リズムよく最後まで走れた。手ごたえも完璧。タフな馬です」。友森翔太郎騎手が興奮気味に振り返れば、管理する塚田隆男調教師は「強くなった。馬がだいぶできてきた。いろんな競馬が



2月12日 スプリングカップ ページェント

できるんだね」とほくほく顔で話した。名古屋3歳勢は新たなスター候補生たちが続々と誕生している。例年以上に盛り上がることに必至の三冠戦線のスタートが、なんとも待ち遠しい。

文●中部地方競馬記者クラブ

●名古屋競馬重賞勝ち馬一覧 2024年12月～2025年2月

日付	レース名(条件)	距離	勝ち馬名(性齢)	騎手名	所属・調教師名
12/3	ゴールドウイング賞(2歳)	1700	カワテンマックス(牡2)	丸野勝虎	名古屋・角田輝也
12/19	名古屋大賞典 JpnⅢ(3歳以上)	2000	ミッキーファイト(牡3)	戸崎圭太	JRA・田中博康
1/4	名古屋記念(4歳以上)	1500	メルト(牡6)	細川智史	名古屋・角田輝也
1/16	新春ペガサスカップ(3歳)	1700	カワテンマックス(牡3)	丸野勝虎	名古屋・角田輝也
1/30	梅見月杯(4歳以上)	1500	アウストロ(牡5)	秋元耕成	浦和・小澤宏次
2/12	スプリングカップ(3歳)	1700	ページェント(牡3)	友森翔太郎	名古屋・塚田隆男
2/24	かきつばた記念 JpnⅢ(4歳以上)	1500	ロードフォンス(牡5)	横山和生	JRA・安田翔伍

兵庫競馬



場番号 園田51・姫路52#

●冬シーズンを振り返る

24年の総決算、園田金盃を制したのは3歳馬マルカイグアス。前で粘るインベルシオンを差し切った。「スタートが決まってい位置につけられたことが勝因です。世代最強馬から現役最強馬になった瞬間に立ち会えてうれしいです」と鴨宮祥行騎手。しかし続く新春賞ではインベルシオンがマルカイグアスに逆転勝利。白鷺賞では転入2戦目の新星オディロンが勝利した。古馬の中長距離路線はまだ混沌としている。

明け3歳戦線の主役はオケマル。ネクストスター園田に続いて園田ジュニアカップも制した。意表をつく逃げで2着に



12月5日 園田金盃 マルカイグアス

は7馬身差。「ゲートで落ち着きがあり、ポーンと出たのでこれなら逃げてでもいいかなと思いました。僕自身、園田ジュニアカップを初めて勝つことができました」と下原理騎手。デビュー30年目にして念願のタイトルを手にした。

24年の兵庫年度代表馬に選ばれたのは新春賞とサマーチャンピオン JpnⅢを制したアラジンパローズ。4歳以上最優秀中長距離馬、短距離馬を同時受賞する初めての快挙となった。イグナイターは未勝利だったが、兵庫所属馬による初の海外遠征、さきたま杯 JpnⅠ・2着などが評価されて兵庫功勲馬というタイトルが



12月31日 園田ジュニアカップ オケマル

与えられた。

最後に触れなければいけないのは松本幸祐騎手の訃報。1月13日、調教中の事故により帰らぬ人となった。43歳。いつも笑顔で誰からも愛された騎手だった。

文●松本健史(大阪日刊スポーツ)

●兵庫競馬重賞勝ち馬一覧 2024年12月～2025年2月

日付	レース名(条件)	距離	勝ち馬名(性齢)	騎手名	所属・調教師名
12/5	園田金盃(3歳以上)	園田1870	マルカイグアス(牡3)	鴨宮祥行	兵庫・橋本忠明
12/25	兵庫ゴールドトロフィー JpnⅢ(3歳以上)	園田1400	フォーヴィズム(牡6)	吉原寛人	川崎・内田勝義
12/31	園田ジュニアカップ(2歳)	園田1700	オケマル(牡2)	下原理	兵庫・盛本信春
1/3	新春賞(4歳以上)	園田1870	インベルシオン(牡6)	廣瀬航	兵庫・松浦聡志
1/16	コウノトリ賞(4歳以上牝)	園田1870	ラヴィアン(牝5)	廣瀬航	兵庫・保利良平
1/23	兵庫クイーンセレクション(3歳牝)	姫路1400	ドライブアウェイ(牝3)	多田羅誠也	高知・工藤真司
1/30	兵庫ウインターカップ(4歳以上)	姫路1400	スペシャルエックス(牡5)	杉浦健太	北海道・田中淳司
2/13	白鷺賞(4歳以上)	姫路2000	オディロン(牡6)	下原理	兵庫・森澤友貴
2/20	兵庫ユースカップ(3歳)	姫路1400	エイシンハリヤー(牡3)	小牧太	兵庫・坂本和也

高知競馬

場番号 55#

写真●高知県競馬組合

●昨年に続くハイレベル世代

12月28日に行われた『第46回金の鞍賞』（1400メートル）は圧倒的な支持を受けたドライブアウェイがスタートで出遅れ7着とまさかの大敗。2番人気リケアマキアートが、同じ田中守厩舎のヤマノアシオトの追撃を封じて初重賞制覇を果たした。ただ同レース以前の走りが評価され2024年高知けいば最優秀2歳馬部門に選出されたのはドライブアウェイの方。続く兵庫クイーンセレクション（姫路1400メートル）では圧勝を飾り即、巻き返しに成功している。一方のリケアマキアートは次走の兵庫ユースカップ（姫路1400メートル）で殿負け。明暗がハッキリと分かれたことでやはり



12月28日 金の鞍賞 リケアマキアート

今年はドライブアウェイが中心の3歳世代となりそうだが、その他にもリケアカブチーノ、リューノス、ジュゲムーン等、まだまだ楽しみな逸材はいる。どう推移していくか注目だ。

●白熱の黒船賞選考競走

毎年、好レースが展開される黒船賞選考競走。今年も例年通り3レースが行われ、大高坂賞をマイネルシトラス、黒潮スプリンターズカップをコパノリッチマン、だるま夕日賞をティアップエックスがそれぞれ制した。いずれも印象深いレースではあったが、インパクトという面では『第12回だるま夕日賞』（1600メートル）だろう。ユメノホノオ、プリフロオールインの三冠馬を中心に重賞勝ち馬がズラリと揃った一戦で前走、AB混



2月16日 だるま夕日賞 ティアップエックス

合戦を勝ったばかりの単勝9番人気ティアップエックスがゴール前5頭の追い比べの中から抜け出したのはアッパレだった。同馬は昨年2月にJRA未勝利の身で転入。そこから約一年で重賞勝ち馬にまで駆け上がったのだから夢がある。今年も記憶に残る黒船賞選考競走路線だった。

文●風間恒一（中島高級競馬騎手）

●高知競馬重賞勝ち馬一覧 2024年12月～2025年2月

日付	レース名(条件)	距離	勝ち馬名(性別)	騎手名	所属・調教師名
12/28	金の鞍賞(2歳)	1400	リケアマキアート(セン2)	赤岡修次	高知・田中 守
12/31	高知県知事賞(3歳以上)	2400	ユメノホノオ(牡4)	吉原寛人	高知・田中 守
1/19	大高坂賞(4歳以上)	1400	マイネルシトラス(牡6)	永森大智	高知・打越勇児
2/2	黒潮スプリンターズカップ(4歳以上)	1300	コパノリッチマン(牡8)	赤岡修次	高知・田中 守
2/16	だるま夕日賞(4歳以上)	1600	ティアップエックス(セン5)	岡達太郎	兵庫・細川忠義
2/23	レジーナデヴィルノ賞(4歳以上牝)	1900	サンオーフレア(牝6)	石川 優	兵庫・田中一巧

佐賀競馬



場番号 61#

写真●佐賀県競馬組合

●実力断然シルトブレ

北海道所属で昨年の佐賀・JBCクラシックJpnIに遠征し4着だったシルトブレは、佐賀移籍初戦の中島記念では3コーナーで一気に先頭に立ち、アエノブライアンに5馬身差を付ける圧勝。続く雷山特別も勝利して佐賀記念JpnIIIへ挑み、中団から向正面で仕掛けて行ったが伸びきれずメイショウフンジン（JRA）から3秒0差の6着に終わった。転入後2連勝の内容から佐賀では力が違い、他場挑戦も視野に入ってきた。アエノブライアンは昨年、佐賀王冠賞、九州大賞典の重賞2勝。中島記念ではシルトブレに差を付けられたものの、引き続き中距離



12月22日 中島記念 シルトブレ

重賞路線で活躍が期待される存在だ。

●ミトノドリームめぐる争い

2歳時に重賞2勝を含む3勝を挙げて無敗のミトノドリームは、11月のネクストスター佐賀の後休養に入っていたが、佐賀皐月賞、九州優駿栄城賞の3歳二冠を目標に戦線復帰予定。3歳重賞は佐賀若駒賞でハクアイアシストが勝利。花吹雪賞は同3着のプレミアムカインド、飛燕賞は同2着ムーンオブザエースがそれぞれ勝利している。

ネクストスター佐賀では、ムーンオブザエースが4馬身差の2着、ハクアイアシストが（1秒8差）6着とミトノドリー



2月9日 飛燕賞 ムーンオブザエース

ムに差を付けられていた。3歳戦線でもミトノドリームの1強体制が続くのか、力を付けた重賞勝ち馬3頭が上位混戦に持ち込むのか、佐賀皐月賞は大きな注目を集めそうだ。

文●上妻輝行

●佐賀競馬重賞勝ち馬一覧 2024年12月～2025年2月

日付	レース名(条件)	距離	勝ち馬名(性別)	騎手名	所属・調教師名
12/1	フォーマルハウト賞(2歳牝)	1400	トサノマイヒメ(牝2)	多田羅誠也	高知・工藤真司
12/8	ウインターチャンピオン(3歳以上)	1400	ダイリンウルフ(牡7)	山本咲希到	佐賀・真島元徳
12/22	中島記念(3歳以上)	1800	シルトブレ(牡5)	石川 優	佐賀・真島元徳
1/5	佐賀若駒賞(3歳)	1750	ハクアイアシスト(牝3)	山口 勲	佐賀・東 真市
1/12	ゴールドスプリント(4歳以上)	1300	カジノフォンテン(牡9)	張田 昂	船橋・玉井 昇
1/26	花吹雪賞(3歳牝)	1800	プレミアムカインド(牝3)	山田義貴	佐賀・山田 徹
2/6	佐賀記念JpnIII(4歳以上)	2000	メイショウフンジン(牡7)	酒井 学	JRA・西園正都
2/9	飛燕賞(3歳)	1400	ムーンオブザエース(牡3)	川島 拓	佐賀・土井道隆
2/20	たんばぼ賞(3歳九州産)	1400	エイヨーアメジスト(牝3)	丹内祐次	JRA・牧田和弥

競馬場別 騎手リーディング *Top3*

(2024年1月1日～12月31日)

ばんえい競馬

順位	氏名	騎乗回数	1着	2着	3着	勝率(%)	連対率(%)	取得賞金(円)
1	鈴木恵介	1,064	156	159	103	14.7	29.6	125,894,000
2	西 将太	1,118	146	96	111	13.1	21.6	76,551,000
3	島津 新	1,052	139	96	87	13.2	22.3	75,586,000

岩手競馬

順位	氏名	騎乗回数	1着	2着	3着	勝率(%)	連対率(%)	取得賞金(円)
1	山本聡哉	837	181	135	102	21.6	37.8	216,137,000
2	村上 忍	966	154	153	120	15.9	31.8	199,783,000
3	高松 亮	940	138	95	92	14.7	24.8	147,682,000

金沢競馬

順位	氏名	騎乗回数	1着	2着	3着	勝率(%)	連対率(%)	取得賞金(円)
1	中島龍也	713	169	129	91	23.7	41.8	131,343,000
2	栗原大河	715	120	102	90	16.8	31.0	112,949,000
3	吉田晃浩	681	105	87	69	15.4	28.2	107,544,000

東海地区(笠松競馬・名古屋競馬)

順位	氏名	騎乗回数	1着	2着	3着	勝率(%)	連対率(%)	取得賞金(円)
1	岡部 誠	1,271	259	220	169	20.4	37.7	298,005,000
2	渡邊竜也	667	241	133	74	36.1	56.1	223,429,000
3	塚本征吾	1,575	209	203	198	13.3	26.2	233,352,000

笠松競馬

順位	氏名	騎乗回数	1着	2着	3着	勝率(%)	連対率(%)	取得賞金(円)
1	渡邊竜也	615	232	120	69	37.7	57.2	194,142,000
2	岡部 誠	463	89	88	74	19.2	38.2	94,268,000
3	塚本征吾	569	78	83	78	13.7	28.3	78,660,000

名古屋競馬

順位	氏名	騎乗回数	1着	2着	3着	勝率(%)	連対率(%)	取得賞金(円)
1	岡部 誠	808	170	132	95	21.0	37.4	203,737,000
2	塚本征吾	1,006	131	120	120	13.0	25.0	154,692,000
3	今井貴大	882	112	95	84	12.7	23.5	174,338,000

兵庫競馬

順位	氏名	騎乗回数	1着	2着	3着	勝率(%)	連対率(%)	取得賞金(円)
1	吉村智洋	1,026	284	200	127	27.7	47.2	465,170,500
2	下原 理	1,008	191	145	135	18.9	33.3	408,290,500
3	廣瀬 航	1,098	156	131	139	14.2	26.1	316,829,000

高知競馬

順位	氏名	騎乗回数	1着	2着	3着	勝率(%)	連対率(%)	取得賞金(円)
1	宮川 実	444	134	76	55	30.2	47.3	243,210,000
2	赤岡修次	392	120	78	65	30.6	50.5	216,655,000
3	永森大智	629	99	99	87	15.7	31.5	178,480,000

佐賀競馬

順位	氏名	騎乗回数	1着	2着	3着	勝率(%)	連対率(%)	取得賞金(円)
1	山口 勲	648	152	112	92	23.5	40.7	177,577,000
2	飛田愛斗	805	120	96	92	14.9	26.8	119,627,000
3	石川慎将	711	115	118	96	16.2	32.8	147,495,000

競馬場別 調教師リーディング *Top3*

(2024年1月1日～12月31日)

ばんえい競馬

順位	氏名	出走回数	1着	2着	3着	勝率(%)	連対率(%)	取得賞金(円)
1	金田 勇	979	138	126	128	14.1	27.0	103,599,000
2	西 弘美	915	105	86	92	11.5	20.9	61,586,000
3	久田 守	960	101	114	112	10.5	22.4	69,937,500

岩手競馬

順位	氏名	出走回数	1着	2着	3着	勝率(%)	連対率(%)	取得賞金(円)
1	佐藤雅彦	698	94	72	71	13.5	23.8	101,418,000
2	菅原 勲	571	89	74	73	15.6	28.5	144,934,000
3	板垣吉則	531	76	63	68	14.3	26.2	84,071,000

金沢競馬

順位	氏名	出走回数	1着	2着	3着	勝率(%)	連対率(%)	取得賞金(円)
1	加藤和宏	839	149	119	96	17.8	31.9	106,776,500
2	加藤和義	749	135	93	82	18.0	30.4	129,512,500
3	佐藤 茂	616	120	95	68	19.5	34.9	123,353,000

東海地区(笠松競馬・名古屋競馬)

順位	氏名	出走回数	1着	2着	3着	勝率(%)	連対率(%)	取得賞金(円)
1	笹野博司	799	190	131	92	23.8	40.2	186,689,000
2	角田輝也	841	187	114	91	22.2	35.8	290,816,500
3	後藤佑耶	757	150	120	77	19.8	35.7	123,882,000

笠松競馬

順位	氏名	出走回数	1着	2着	3着	勝率(%)	連対率(%)	取得賞金(円)
1	笹野博司	788	190	128	91	24.1	40.4	176,064,000
2	後藤佑耶	755	150	119	77	19.9	35.6	123,007,000
3	加藤幸保	739	86	66	98	11.6	20.6	78,273,000

名古屋競馬

順位	氏名	出走回数	1着	2着	3着	勝率(%)	連対率(%)	取得賞金(円)
1	角田輝也	792	177	105	84	22.3	35.6	254,643,500
2	今津博之	649	109	94	76	16.8	31.3	134,819,000
3	川西 毅	344	86	57	39	25.0	41.6	93,578,000

兵庫競馬

順位	氏名	出走回数	1着	2着	3着	勝率(%)	連対率(%)	取得賞金(円)
1	森澤友貴	417	88	64	47	21.1	36.5	124,113,000
2	飯田良弘	399	86	64	46	21.6	37.6	143,977,000
3	田中一巧	317	80	48	35	25.2	40.4	128,987,000

高知競馬

順位	氏名	出走回数	1着	2着	3着	勝率(%)	連対率(%)	取得賞金(円)
1	打越勇児	696	230	122	93	33.0	50.6	485,455,000
2	田中 守	546	151	89	78	27.7	44.0	304,735,000
3	工藤真司	749	122	116	89	16.3	31.8	207,005,000

佐賀競馬

順位	氏名	出走回数	1着	2着	3着	勝率(%)	連対率(%)	取得賞金(円)
1	真島元徳	617	129	99	74	20.9	37.0	162,495,500
2	池田忠好	702	96	74	73	13.7	24.2	122,744,000
3	山田 徹	683	85	79	65	12.4	24.0	74,762,000

ジョッキーインタビュー

取材・文●浅野靖典

塚本征吾騎手は、2025年2月4日に川崎競馬場で行われた「佐々木竹見カップ・ジョッキーズグランプリ」に初出場。第1戦で勝利を挙げ、総合2位という結果を残した。

第1戦の騎乗馬は休み明けでも、とてもいい状態だと感じました。レースでは積極的に行くつもりでしたが、スタート後に宮川実さんが先手を取ったので、3番手の外という位置になりました。その展開にうまく乗って勝つ形になったと思いますが、左回りの違和感はすごかったです。そもそも左回りの競馬場で乗るのが初めてで、左回り自体も、右回りと左回りで訓練する教養センター以来。だから4年ぶりでした。

しかも東日本の競馬場で乗るのも初めて。それで第2位に入ったのだから、相当なインパクトを残したといえる。

第1戦を勝ったあとは、優勝の文字しか頭に浮かんでこなかったです(笑)。第2戦は調教師さんの指示もあって、じっくりと構えていくつもりでした。でも左回りに慣れていないから重心の移動がうまくできなくて、そのなかで馬に間違った合図として伝わってしまったところがあったようで、早めに動く形になってしまいました。その点を含めて、2位でも全体として納得できる内容ではなかったなと思います。

しかしながら、いつもと全く違う経験は、今後への大きな糧になったことだろう。

振り返ってみると、楽しかったことは間違いないですね。普段の感覚とは違うレベルで競馬をしているというのかな。そういう感覚がありました。トップジョッキーのみなさんはレース運びにスキがないことを実感しましたし、一挙手一投足がとてもきれいだと思いました。それに比べると、自分はまだまだ粗削り。トップジョッキーのみなさんは、どんな馬に乗ってもその馬に合わせた騎乗ができて、その上で馬のよさを引き出せるという印象がありますが、自分は得意不得意がありますから。今の名古屋で自分が受けている評価としては、ゲートをまずまず出せて、最後まで追うことができる、というところではないかと思います。そのイメージはこれから変えていきたい



写真●愛知県競馬組合

ブリーザフレスカで大差勝ちを収めた23年秋桜賞

いですね。自分自身、引き出しの数が圧倒的に足りていませんし、これから普段の所作はもちろん、判断力や考えかたを成長させて、また出場したいです。

それでも2021年4月のデビューから順調に勝ち星を伸ばし、24年は209勝を挙げる活躍を見せた。

環境に恵まれていますし、自分でも順調にきていると思います。その一方で、結果と技術が釣り合っていないとも感じます。実際、反省することのほうが多いですからね。だからこそ、川崎での1日は僕にとってものすごい経験。名古屋だけで乗っていたら、井の中の蛙みたいな状態になっていたかもしれないですから。ほかの世界も見てみたいと思えるきっかけになったことは間違いありません。

とはいえ、まだ5年目。今年1月14日には通算500勝を記録が残っている1973(昭和48)年以降、最も短い日数で達成した。

300勝を達成したときに、ケガをしなければ最速での500勝を狙えると思いました。さきほど、ほかの世界も見てみたいと言いましたが、身近な目標は最速での1000勝。そして名古屋でのリーディング。もっと上を目指したいのはもちろんですが、まずは地元でしっかりと、と考えています。

25年も着実に勝利を積み上げて、2月中旬の時点で名古屋トップの勝ち星を記録。重賞では昨年からの勝利を挙げられていないが、23年の秋桜賞ではブリーザフレスカで衝撃的な大差勝ちをおさめた。

あのときはインコースに1頭分の幅だけ砂が軽い場所があって、そこをうまく使えたのが大きかったと思います。今の競馬場に移ってからは、開催ごとに馬場状態が変わるので、その見極めがとても重要です。毎日の調教ではインコースも使いますが、レースになると違うんですよ。最初に乗るレースでは、まずインコースをどこまで使えるのかを探る必要があります。

個人的にはコンビノでのレースも記憶に残る。ヤングジョッキーズシリーズのトライアルラウンド佐賀(22年8月4日)で、筆者に「岐阜金賞を狙います」と話していた。

あのときは5連勝中でしたからね。2年目であんないい馬に乗せていただけて、本当にありがたかったです。でも重賞では2着ばかりで……(計6回)。コンビノは新しい競馬場に移ったときに主戦騎手になっていただきました。けっこうウルサイ面がありますが、最初に乗ったときの印象がとても良かったことを覚えています。ただ、頑張りすぎるところがあるんですよね。あの

塚本征吾(名古屋)

つかもと せいご



2004年2月20日生まれ うお座 O型
静岡県出身 櫻井今朝利厩舎
初騎乗/2021年4月19日
地方通算成績/5,106戦529勝
服色/桐黄・赤V字襟、袖黄
重賞勝ち鞍/ゴールド争覇、秋桜賞、ゴールドウイング賞、トリトン争覇
※2025年2月19日終了時点

岐阜金賞はアタマ差。勝ちたかったという思いは残っています。

ちなみに昨年は名古屋で131勝、笠松で78勝を挙げた。

調教は午前2時頃から8時頃まで。レースがある日も同じスケジュールで、昼間の開催のときは調教のあとに少し寝てからレースに臨みます。笠松開催ではそこに移動が加わりますから、正直なところ、ちょっとキツイと感じるときもあります。でも昨年は笠松にたくさん行って、1年を無事に走り抜けられましたから、今年も大丈夫かなと思って続けています。

2月20日で21歳。その年齢なら、まだまだ突破できそうだ。

体のケアとしては、今は鍼灸を定期的に受けています。体もどちらかというと柔らかいほうかなと思いますね。僕の家テレビでは常に地方競馬中継が流れていて、いつも兄たちのレースを見ていました。その影響もあって、小学校高学年から騎手になると決めていたので、それに向けた体づくりをしていました。ちなみにそういう環境だったので、僕は日本には地方競馬ではない競馬があることを知らずに育ったんですよ。初めて気がついたのが中3の夏。だからJRAの競馬学校の試験には間に合いませんでした。それが分かったとき、親に文句を言いましたよ(笑)。仮に僕がJRAに行っていたらどうなっていたか、これは分からない話ですが、受験くらいはしたかったなあ。そんな思いも含めて、ワールドオールスタージョッキーズは狙いたい舞台です。でもそれは「JRAのレースで乗りたい」という気持ちより「勉強したい」という意識。川崎での2レースだけであんなにいい経験ができたんですからね。佐々木竹見カップに出られたことは、今後につながる大きな財産になったと改めて感じます。

名古屋の面白い話

石井学さん(競馬エース)

取材・文●浅野靖典



名古屋競馬場は2011年前後に『賞金が出るのは4着以内』になるくらい、厳しい経営状況に陥った。しかしいろいろな努力が実って馬券の売り上げが回復。現在は新しい競馬場でナイター開催も行われている。その激動の日々を、専門紙・競馬エースの石井学さんに伺った。

競馬場の経営が厳しかった2011年前後

私が競馬エースに入ったのは、会社員をやめてフリーター状態だったとき。名古屋競馬場に通っていて、専門紙に社員募集中の文字を見つけたのがきっかけです。だから完全に競馬ファン上がり。入社後は営業や制作という、いわば裏方にあたる業務をしています。

名古屋競馬での思い出となると、やはり入社したころですね。とくに記憶に残っているのは、2000年の第1回梅見月杯のセイエイツトップ。雪が降るなかで見えました。なぜ記憶に残っているのかというと、その影響でカゼをひいたから(笑)。

そのころの名古屋競馬場は『あおなみ線』が開通する前でしたが、たくさんの食堂が営業していて活気がありましたね。そのあとだんだんと馬券の売り上げが減って、それにつれて賞金も減って、廃止という声が聞かれるようになりました。

ただ、入場者数はそんなに減らなかったんですよ。専門紙の売り上げもあまり変わらなくて、だから馬券だけ売れないという状態でした。

競馬場として厳しかったのは2011年前後ですね。その頃、存続をあきらめている調教師が多いという話を聞きました。13年に福山競馬が廃止になりましたが、それと同じように「補償金をもらって辞めよう」という声もありました。でもそういう人が多数派になったらマズイと考える人たちもいました。笠松競馬の『愛馬会』と同じように、名古屋にも『振興協議会』という組織があって、競馬を続けようという気持ちで内部から湧きおこっていました。

その流れで実施されたのが、サンクスホースデイズ(14年9月23日)。角田輝也調教師が、当時はJRAの調教師だった角居勝彦さんと知り合いで、そこから話が進展していきました。そのイベントを名古屋競馬の関係者が手伝ったことで、競馬関係者の一体感が増したのは間違いのないと思

います。

それでも馬券の売り上げは厳しいままでしたが、競馬場の経営という点で追い風になったのが、12年から15年にかけて行われたウインズ名古屋の建て替え。その影響でウインズが狭くなって、さらに後半8レースで最低200円以上からの発売になったんです。それで駐車場が無料で、100円単位で買える名古屋競馬場(J-PLACE名古屋)にがざわいました。そのあたりから競馬場を移転する話が具体化してきて、前の競馬場での開催は22年3月が最後。そのあと古いスタンドで2年ほど馬券発売が続いて、昨年に新しい場外発売所が完成しました。ちなみに専門紙の売れ行きは、それほど大きくは減っていない感じがしますね。個人的な感覚ですが、競馬場の跡地には競馬の文化が残ると思うんですよ。一宮競輪場の跡地にある名古屋競馬の場外発売所は、専門紙があまり売れませんか……。

競馬場が厳しかった時代に話を戻すと、そのころはウチの会社もいろいろと協力しました。たとえば12年の名古屋グランプリ。その年は有馬記念の翌日に実施されたので、別刷りを発行して中京競馬場とウインズで配りました。そういう日々を経て名古屋競馬は新しくなったわけですが、だからこそ笠松競馬場は今の雰囲気のままです。

新競馬場移転後は若手騎手が活躍

経営的に厳しいころの名古屋競馬は、スタートして隊列が決まったらそのまま3連単の配当が3ケタ……ということが多かったですね。切なかったのはお客さんの反応で、名古屋のレース中なのに園田競馬用のモニターの前にたくさんの人がいたこと。確かに面白くないと思われても仕方ない感じがありました。さらに昔は「外枠を買っていれば当たる」と言われていましたし。

でも新しい競馬場になって、レースの中身が変わりました。予想するときに注目する馬は、3コーナーからインコースをうまく回って、4コーナーで外に出せるタイプ。最後の直線は内側の砂が深いので、コース取りがうまくできるかが大きなカギになります。個人的に今の名古屋に合っていると考える騎手を挙げると、まずは北海道から戻ってきた阪野学騎手。新人の望月輝輝騎手も注目できる存在で、減量が取れても好



地方競馬で唯一の場内コンビニ

成績を残していますね。塚本征吾騎手もすごい活躍で、大畑慧騎手を含めて若手の活躍が目立っています。と同時にベテラン騎手も元気いっぱいですね(笑)。

賞金が上がったことで馬の数も増えました。全レースがフルゲートになることも多いですね。そのあたりも含めて厩舎スタッフは夢のある職業になったと思うのですが、厩務員は不足が。新しい厩務員住宅を作りましたが、引き続き課題といえますね。

それでも馬券の売り上げは順調で、梅見月杯の日(1月30日)はナイター開催で13億円を超えて、同じ日の川崎競馬(昼間開催)に届きそうな数字でした。これは競合相手が少ない日の開催を徹底しているからこそ。ナイターだと来場者が少なくなるので、専門紙としてはキツイんですが……。

場内にある『ヤマザキ』の店長に

ところで、私は営業と制作をしてきたとさきほど言いましたが、今はそれに加えて『店長』という肩書もついています。新しい競馬場が作られるとき、そのスタンドの設計図には食堂用のスペースがひとつだけ。それで主催者がコンビニを作りたいと動いたのですが、大手のコンビニには断られたそうです。そのあとヤマザキ(ヤマザキショップ)さんに打診したらOKが出て、フランチャイズのオーナーが必要ということで、ウチの会社に話が来ました。そんな流れで看板が決まったのですが、結果的にヤマザキショップでよかったと思います。自由度がとても高いので、オリジナルの商品を売ってもガチャガチャを置いても大丈夫。ATMがないのはアレですが(苦笑)。

店舗はスタンド内と駐車場地区の2カ所で、外の店は営業時間がスタンド内よりも長いので、祝日や大きいレースの日は、駐車場の出口渋滞を避ける人がたくさん来店していただきます。そのおかげもあって、ガチャガチャに入れていた騎手のキーホルダーは、ほぼ完売となりました。次の企画にもぜひ期待していただければと思います。

専門紙の仕事もちゃんとやっていて、競馬エースの紙面上で『店長のおすすめBOX』として、3連単で4頭という予想を全レースで出しています。これが1頭だけ抜けることが多いんですよ。その点に注意して、ご活用いただければと思います。

4月→6月

注目レース

名古屋競馬

データ分析

4～6月の名古屋競馬では、大型連休中に組まれている名古屋グランプリJpnⅡが最大のレース。実施時期が年末から変更され

5/6 名古屋グランプリJpnⅡ

●前走JpnⅢ組に注目

基準重量56kgからJpnⅠ・1着馬は2kg増、JpnⅡ・1着馬は1kg増となるグレード別定戦（牝馬2kg減）。出走馬の前走をグレード別（芝重賞は除く）にみると、JpnⅠ【3-1-1-6】（3着内率45.5%）、JpnⅡ【2-2-0-4】（同50.0%）、JpnⅢ【4-3-3-2】（同83.3%）でJpnⅢに出走していた馬が好成績（※JpnⅠ、JpnⅡ、JpnⅢには、GI、GⅡ、GⅢを含む）。

特に前走JpnⅢは、24年キリンジがマーチステークスGⅢ・11着から3着に巻き返

実施日	レース名(条件)	距離	24年の勝ち馬(所属)
4/8(火)	東海桜花賞(4歳以上)	2100m	アナザートゥルース(北海道)
4/10(木)	東海クイーンカップ(3歳牝)	1700m	ニジイロハービー(名古屋)
5/5(祝・月)	駿蹄賞(3歳)	2000m	フークビグマリオン(名古屋)
5/6(振・火)	名古屋グランプリJpnⅡ(4歳以上)	2100m	ノットゥルノ(JRA)
6/4(水)	東海優駿(3歳)	2100m	フークビグマリオン(名古屋)
6/26(木)	トリトン争覇(3歳以上)	1500m	ロードランヴェルセ(名古屋)

た24年はノットゥルノがコースレコードで圧勝した。3歳馬は東海優駿を目指しての戦い。3月の準重賞・中京ペガスターカップから一冠目の駿蹄賞を経て臨むのが王道ローテーションだ。6月のトリトン争覇からは3歳馬が重賞で古馬との対戦が可能とな

る。ここでは、名古屋グランプリJpnⅡ（24年の同レースと、15～23年は当時春に実施されていた1900～2000mの名古屋大賞典JpnⅢを対象に過去10回）と、競馬場が移転した22年から実施されているトリトン争覇の過去3回から傾向を探っていく。

すなど相性抜群。前走JpnⅠは、JpnⅡ以上で勝利実績がある馬（57kg以上に相当）だと【3-0-1-4】（3着内率50.0%）と成績上昇。23年はグレード未勝利で前走川崎記念JpnⅠ・3着のニューモニュメントが2番人気で5着に敗れたが、24年は同6着もノットゥルノがJpnⅠホースの貫録をみせつけた。

なお前走オープン特別組は出走があった8回中5回で3着以内を確保し、3着内率は40.0%。24年はJRAから高知転入初戦だったヒロイックテイルが2着に入った。

また15～23年には、前走佐賀記念JpnⅢ組が【2-2-3-4】（3着内率63.6%）と活躍。地方馬でも17年カツゲキキトキト（名古屋）

が2走前の同レース4着から3着に好走した。23年までの名古屋大賞典JpnⅢと比べ、24年は時期が1カ月半ほど遅くなったが、その年も2走前が同レースだったノットゥルノとキリンジがともに馬券に絡んで1、3着。同年の佐賀記念JpnⅢ出走馬は勝っていても注目。

騎手別では、川田将雅が【4-0-0-1】で20～23年に4連覇し、武豊が24年ノットゥルノなど3勝【3-0-0-0】と2人で7勝をマーク。24年に8年連続の東海リーディングに輝いた岡部誠は24年に2番人気ディクテオンで4着などJRA馬に騎乗した3回を含め馬券絡みが無い。

	枠番	馬番	馬名(所属)	性齢	重量	騎手	調教師	タイム・着差	人気	通過	前走	2走前
24.5.6 名古屋2100m 曇・良 12頭	7	10	ノットゥルノ(JRA)	牡5	58	武 豊	音無秀	R 2.10.9	1	1-1-1	川崎記念 JpnⅠ⑥	佐賀記念 JpnⅢ①
	2	2	ヒロイックテイル(高知)	セウ	56	多田誠	田中守	8	7	3-3-3	J阪神・仁川S⑩	J京都・アルデバランS⑨
	8	11	キリンジ(JRA)	牡4	56	和田竜	佐々木	2 1/2	3	2-2-2	マーチS GⅢ⑪	佐賀記念 JpnⅢ②

■参考: 15～23年の名古屋大賞典JpnⅢ(15～22年は1900m、23年は2000m)

23.3.16 晴・良	3	3	ハギノアレグリアス(JRA)	牡6	54	川田将	四位洋	2.08.2	1	6-3-3	J中京1800m GⅡ②	J阪神1800m GⅢ②
22.3.10 晴・良	6	7	クリンチャー(JRA)	牡8	58	川田将	宮本博	2.03.4	1	5-5-4	大井2000m GI②	J中京1800m GI④
21.3.11 晴・良	6	7	クリンチャー(JRA)	牡7	58	川田将	宮本博	2.00.0	1	4-3-1	佐賀記念 JpnⅢ①	J中京1800m GI⑩
20.3.12 晴・重	5	5	ロードゴラッソ(JRA)	牡5	55	川田将	藤岡健	2.02.0	4	6-6-5	佐賀記念 JpnⅢ②	大井2000m GI⑤
19.3.14 晴・稍重	8	12	グリム(JRA)	牡4	55	武 豊	野中賢	2.02.1	1	2-2-1	名古屋2500m JpnⅡ③	浦和2000m JpnⅡ②
18.3.29 晴・良	5	5	サンライズソア(JRA)	牡4	54	Mデム	河内洋	2.02.4	1	1-1-1	J阪神2000m OP②	J中山1800m OP⑩
17.3.30 晴・良	5	5	ケイティブレイブ(JRA)	牡4	58	福永祐	目野哲	2.02.5	3	1-1-1	J東京1600m GI⑥	川崎2100m JpnⅠ⑤
16.3.17 晴・良	2	2	アウォーディー(JRA)	牡6	55	武 豊	松永幹	2.01.2	1	2-2-2	J阪神2000m GⅢ①	J阪神1800m 3勝①
15.3.26 晴・良	8	11	メイショウコロポ(JRA)	牡6	55	武幸四	角田晃	2.00.8	3	1-1-1	園田1400m JpnⅢ①	J小倉1700m OP①

6/26 トリトン争覇

●重賞未勝利馬が好成績

かつては冬にマイル争覇として実施されていたが、22年の競馬場移転とともに、レース名や時期、距離も変更。1700mで6月に行われていたが、今年から1500mに距離短縮となった。

勝ち馬は当レースが重賞初制覇だったというのが共通点。22年ウインユニファイ

ドは重賞で3走連続2着から臨んで1番人気にこたえ、23年はブリーザフレスカが重賞初挑戦ながら2着に7馬身差をつける強い勝ち方。24年は前走A級2組で1着だったロードランヴェルセが8番人気で穴をあけた。また騎手も23年塚本征吾、24年丸山真一はここで重賞初勝利を挙げている。

24年は馬単16,960円、3連単143,080円で過去3回でもっとも荒れたが、5月に2100mで行われていた湾岸スターカップ

が920mに距離短縮され近走比較が難しかったことが要因として挙げられる。過去3回の2、3着馬6頭中4頭も重賞未勝利（例外は22年3着スタンサンセイ、24年2着インペリシャブル）。毎年出走がある角田輝也厩舎は、22年2着、24年2・3着。2年続けて馬券に絡んだ馬はいない。といったデータを参考に、昨年の当レースが重賞初参戦（9着）だった望月海輝をはじめ若手騎手の騎乗があれば注目したい。

	枠番	馬番	馬名(所属)	性齢	重量	騎手	調教師	タイム・着差	人気	通過	前走	2走前
24.6.13 名古屋1700m 晴・良 12頭	7	9	ロードランヴェルセ(名古屋)	セン5	57	丸山真	坂口義	1.48.0	8	5-6-4	名古屋・A級2組①	名古屋・A級⑤
	6	8	インペリシャブル(名古屋)	牡7	57	丸野勝	角田輝	1 1/2	2	2-1-1	名古屋・A級①	名古屋・A級2組④
	4	4	レッドブロンクス(名古屋)	牡7	57	細川智	角田輝	1	7	3-2-1	名古屋・A級1組①	名古屋・A級2組②
23.6.15 名古屋1700m 曇・稍重 12頭	6	8	ブリーザフレスカ(名古屋)	牝4	55	塚本征	塚田隆	R 1.46.9	2	7-2-1	湾岸スター C②	名古屋・J交流A級①
	8	11	コンビノ(名古屋)	牝4	55	渡邊竜	竹下直	7	6	3-1-2	名古屋大賞典 JpnⅢ⑧	名古屋・A級2組①
	8	12	クインザヒーロー(名古屋)	牡10	57	大畑雅	迫田清	2 1/2	12	4-5-5	湾岸スター C⑤	名古屋・A級2組⑤
22.6.23 名古屋1700m 晴・重 12頭	7	10	ウインユニファイド(名古屋)	牡10	57	丸野勝	沖田明	1.47.3	1	3-3-1	湾岸スター C②	オグリキャップ記念②
	3	3	マイネルティプトン(名古屋)	牡5	57	今井貴	角田輝	1	4	5-4-2	大井・B2級⑤	大井・B2級④
	5	5	スタンサンセイ(笠松)	セン6	57	渡邊竜	笹野博	6	9	8-8-7	笠松・A級1組⑤	オグリキャップ記念⑪

名古屋競馬場

サイヤーランキング

2023年2月1日～2025年1月31日

取得賞金ランキング

勝利数ランキング

■総合(2738レース)

種牡馬名	取得賞金(千円)	1着	出走回数	出走頭数	活躍馬(取得賞金順)
ドレフォン	115,258	59	342	45	ミッキーファイト
ロードカナロア	92,138	77	375	52	ブリーザフレスカ
キズナ	86,259	41	353	49	ハギノアレグリアス
ハーツクライ	85,863	22	253	35	ノットウルノ
ラニ	85,032	34	328	24	フークピグマリオン

■900m(21レース)+920m(226レース)

ダノンレジェンド	11,536	5	27	15	ベストリーガード
Pioneer of the Nile	11,275	6	8	1	フォルツァエフ
コパノリッキー	7,180	7	42	21	ヒカリイロノツバサ

■1400m(126レース)

マジスティックウォリアー	4,520	4	33	14	レイジーウォリアー
ジャスタウェイ	3,500	3	28	12	サンパティーク
ブリックスアンドモルタル	3,235	4	17	9	アドゥールグロー

■1500m(1936レース)

マジスティックウォリアー	55,270	40	347	38	ミトノウォリアー
リオンディーズ	54,084	32	329	39	サンライズホーク
ロードカナロア	51,180	58	243	46	ブリーザフレスカ

■1700m(380レース)

ドレフォン	26,882	10	59	18	カワテンマックス
ロードカナロア	22,867	12	64	24	ブリーザフレスカ
コパノリッキー	19,351	6	39	9	セブンカラーズ

■2000m(37レース)+2100m(12レース)

ハーツクライ	64,700	3	16	12	ノットウルノ
キズナ	44,163	3	10	8	ハギノアレグリアス
ラニ	21,083	2	8	6	フークピグマリオン

種牡馬名	1着	2着	出走回数	出走頭数	勝利数	活躍馬(勝利回数順)
ロードカナロア	77	56	375	52	30	イストロス
ドレフォン	59	60	342	45	28	アブサラー
マジスティックウォリアー	57	48	522	42	23	ミトノウォリアー
ダンカーク	52	41	559	42	19	ハングリーゴースト
エビファネイア	46	33	441	50	24	マロンアイス

コパノリッキー	7	5	42	21	7	ヒカリイロノツバサ
ラプリーデー	7	3	36	18	6	オゼイユ
ドレフォン	6	4	17	12	6	シャンディエン

ブリックスアンドモルタル	4	4	17	9	4	アドゥールグロー
マジスティックウォリアー	4	1	33	14	4	レイジーウォリアー
キズナ	4	1	14	11	4	スマッシュスルー

ロードカナロア	58	35	243	46	28	サウンドジャッカル
エビファネイア	41	25	340	45	23	シングルノヴァ
マジスティックウォリアー	40	33	347	38	20	ブロードアクト

ダンカーク	14	9	90	17	6	ハングリーゴースト
ロードカナロア	12	7	64	24	8	ブリーザフレスカ
ドレフォン	10	6	59	18	6	アブサラー

ハーツクライ	3	2	16	12	3	ノットウルノ
キズナ	3	1	10	8	3	ハギノアレグリアス
ラニ	2	1	8	6	1	フークピグマリオン

重賞勝ち馬の血統を読む

文●平出貴昭(サラブレッド血統センター)

ゴールドウイング賞・新春ペガサスC
カワテンマックス2022年5月12日生まれ 牡 鹿毛 名古屋・角田輝也厩舎
生産・登録上水牧場(登録別)

ドレフォン(USA) 鹿毛2013	Gio Ponti(USA) 鹿毛2005	Tale of the Cat(USA) Chipeta Springs(USA)
	Eltimaas(USA) 鹿毛2007	Ghostzapper(USA) Najecam(USA)
ダンシングマオ 鹿毛2007	ゴールドアリュール 栗毛1999	サンデーサイレンス(USA) ニキータ(USA)
	エスカビオーサ(ARG) 鹿毛1992	Payant(ARG) Elegia(ARG)

昨年8月のデビューからここまで、ゴールドウイング賞、新春ペガサスCと2つの重賞を含む4戦4勝のカワテンマックス。今回はこの馬の血統を詳しく見ていこう。

父ドレフォンは2016年の米GI・BCスプリント(D6F)を勝った米チャンピオンスプリンター牡馬。父ジオポンティは米GIAーリントンミリオン(芝10F)など芝の米GIを7勝した名馬で、父系を遡るとストームキャットに辿り着く血統。伯父に米GI・BCジュヴェナイルのアクションディステイがいる牝系も一流だ。

引退翌年の18年から、安平・社台スタリオンステーションで種牡馬入り。札幌2歳Sを勝ったジオグリフなどの活躍で、21

年の総合ファーストシーズンサイヤーチャンピオンに輝いた。ジオグリフは22年に皐月賞を勝利。その後も産駒が芝にとどまらずダートでも勝ち星を量産し、僅か4世代の稼働で、24年にはJRAのダートサイヤーチャンピオンに輝いた。

地方競馬でも目覚ましい産駒の活躍ぶり、アンデスピエントが関東オークス、ミッキーファイトが名古屋大賞典を勝利し、24年は前年比+65勝の235勝をマーク。重賞は11勝で、順位も20位から9位にジャンプアップしている。今年も既に重賞4勝で、2月24日現在、サイヤーランキングで3位に入っている。カワテンマックスと同じ東海地区の3歳馬ではページェント(愛知)がライデンリーダー記念(笠松)、ゴールドジュニア(笠松)、スプリングC(名古屋)を勝利。昨年12月からスプリングCまで東海地区の5重賞はこの2頭で分けている。昨年12月のミッキーファイトによる名古屋大賞典勝利もあり、このところの東海地区のドレフォン産駒の活躍は驚異的とも言えるものだ。

カワテンマックスの牝系を見てみよう。母ダンシングマオはJRAのダート1200～1400mで計4勝。半姉ハービンマオ(父ハービンジャー)は関東オークスの勝ち馬で、



ゴールドウイング賞を制したカワテンマックス

半姉タンカノキミ(父ヴァーミリアン)は佐賀で3勝している。祖母エスカビオーサは芝1600mのGI重1000ギニーの勝ち馬で、曾祖母エレヒアの孫には重GIブエノスアイレス大賞を勝ったシルヴァードリンクが出ていた、アルゼンチンのファミリーだ。

母の父ゴールドアリュールはダートではお馴染みの種牡馬で、10～11、14年地方、18、19年JRAダートのチャンピオンサイヤー。エスポワールシチーなど10頭のダートGI/JpnI馬を送っている。母の父としても、東京大賞典4連覇のオメガパフューム、昨年の東京ダービー馬ラムジェット、JBCレディスクラシックのアンモシエラがGI/JpnIを勝利。ドレフォンとの組み合わせからは23年東京プリンセス賞のサーフズアップ、24年ユングフラウ賞のミチノアンジュが出ており相性は良いようだ。

父、母の父ともに現在の地方競馬では“匂”と言える血統の持ち主であるカワテンマックス。名古屋にとどまらず、全国でその強さをアピールする走りを期待したい。

DIRT GRADE DATA 作戦

第2回 兵庫女王盃 Jpn III

4月3日(木)

4歳以上牝馬 グレード別定 園田1870m
1着賞金 未定 フルゲート12頭24.4.4
園田
1870m
曇・重

6	7	ライオットガール(JRA)	牝4	55	岩田望来	2.00.8	3人
5	5	アーテルアストレア(JRA)	牝5	55	菱田裕二	2	2
7	9	サーマルソアリング(JRA)	牝4	54	西村淳也	3	1

単勝⑦530円 枠連複(5-6)450円 馬連複(5-7)620円
馬連単(7-5)1,570円 3連複(5-7-9)380円 3連単(7-5-9)3,800円

第74回 川崎記念 Jpn I

4月9日(水)

4歳以上 定量
川崎2100m
1着賞金1億円
フルゲート14頭24.4.3
川崎
2100m
曇・重

8	10	ライトウォーリア(川崎)	牡7	57	吉原寛人	2.15.5	7人
7	8	グランブリッジ(JRA)	牝5	55	川田将雅	アタマ	5
6	7	アイコンテラー(JRA)	牝6	55	松山弘平	ハナ	4

単勝⑩3,710円 枠連複(7-8)5,780円 馬連複(8-10)11,910円 枠連単(8-7)12,370円
馬連単(10-8)35,540円 3連複(7-8-10)14,330円 3連単(10-8-7)246,620円

5	5	ウシュバテソーロ(JRA)	牡6	57	横山和生	2.16.0	2人
3	3	テオーケインズ(JRA)	牡6	57	松山弘平	1/2	1
1	1	ニューモニュメント(JRA)	牡7	57	小崎綾也	4	5

単勝⑤260円 枠連複(3-5)260円 馬連複(3-5)250円 枠連単(5-3)420円
馬連単(5-3)550円 3連複(1-3-5)630円 3連単(5-3-1)2,650円

3	3	チュウウウィザード(JRA)	牡7	57	川田将雅	2.14.9	1人
1	1	エルデクラーゼ(船橋)	セ7	57	本田正重	4	9
5	6	ヴェルテックス(JRA)	牡5	57	横山武史	アタマ	3

単勝③120円 枠連複(1-3)3,570円 馬連複(1-3)3,230円 枠連単(3-1)4,660円
馬連単(3-1)3,960円 3連複(1-3-6)4,830円 3連単(3-1-6)19,090円

●4月に移った前回は地方馬が勝利
過去5年の1番人気は2勝、2着2回という成績で、2024年セラフィックコールだけ5着と好走できなかった。この年、勝利を飾ったのはライトウォーリア(川崎)。地方馬の勝利は21年カジノフォンテン(船橋)以来であり、ダートグレード初勝利がこのレースとなった。前走報知オールスターカップから挑むのは、施行時期が変わる前か相性が良かったローテーションだ。
また、24年は2着グランブリッジ、3着アイコンテラーとJRAの牝馬が好走。川崎記念で牝馬が馬券に絡むのはめずらしいが、両馬は牝馬限定とはいえJpnIである前年のJBCレディスクラシックで連対。かつ左回りの実績も十分だったことも好走の決め手となったと考えられる。

第36回 東京スプリント Jpn III

4月16日(水)

4歳以上 グレード別定 大井1200m
1着賞金 未定 フルゲート16頭24.4.10
大井
1200m
晴・重

6	9	ジャスティン(大井)	牡8	57	西 啓太	1.12.3	5人
5	8	クロジシジョー(JRA)	牡5	56	戸崎圭太	2	3
6	10	テイエムトッキュウ(JRA)	牡6	56	北村友一	2	2

単勝⑥1,440円 枠連複(5-6)570円 馬連複(8-9)3,290円 枠連単(6-5)950円
馬連単(9-8)10,570円 3連複(8-9-10)2,920円 3連単(9-8-10)41,990円

第26回 兵庫 チャンピオンシップ Jpn II

5月1日(木)

3歳 定量 園田1400m
1着賞金 未定
フルゲート12頭24.4.29
園田
1400m
雨・良

3	3	エートラックス(JRA)	牡3	57	J.モレイラ	1.28.4	1人
1	1	チカッパ(JRA)	牡3	57	吉村洋洋	3	4
8	11	モズミギカタアグリ(JRA)	牝3	55	M.デムーロ	2 1/2	6

単勝③220円 枠連複(1-3)580円 馬連複(1-3)640円
馬連単(3-1)870円 3連複(1-3-11)6,850円 3連単(3-1-11)17,220円

5	6	ミトノオー(JRA)	牡3	57	武 豊	2.00.7	1人
2	2	キリンジ(JRA)	牡3	57	下原 理	6	4
8	11	メイショウオーロラ(JRA)	牝3	55	横山典弘	10	2

単勝⑥140円 枠連複(2-5)450円 馬連複(2-6)500円
馬連単(6-2)680円 3連複(2-6-1)330円 3連単(6-2-11)1,390円

6	7	ブリッツファンク(JRA)	牡3	56	池添謙一	2.01.4	3人
3	3	ノットゥルノ(JRA)	牡3	56	武 豊	8	2
7	9	コンシリエーレ(JRA)	牡3	56	D.レーン	3/4	4

単勝⑦400円 枠連複(3-6)610円 馬連複(3-7)600円
馬連単(7-3)1,260円 3連複(3-7-9)1,040円 3連単(7-3-9)5,010円

6	7	リプレーザ(JRA)	牡3	56	幸 英明	2.02.5	2人
5	5	ゴッドセレスジョン(JRA)	牡3	56	中井裕二	1/2	1
7	9	ランスオブアース(JRA)	牝3	54	泉谷楓真	3 1/2	4

単勝⑦500円 枠連複(5-6)250円 馬連複(5-7)230円
馬連単(7-5)820円 3連複(5-7-9)530円 3連単(7-5-9)3,300円

7	9	バーナードループ(JRA)	牡3	56	C.ルメール	2.01.7	1人
7	10	ダノンファラオ(JRA)	牡3	56	坂井瑠星	クビ	2
6	7	サンデーミラージュ(JRA)	牡3	56	松若風馬	9	3

単勝⑨210円 枠連複(7-7)230円 馬連複(9-10)240円
馬連単(9-10)460円 3連複(7-9-10)330円 3連単(9-10-7)1,080円

●時期が近い1400mのオープン特別が直結
2024年から距離が1400mに短縮され、3歳春季・短距離路線の頂点競走に生まれ変わった。その前回は1着エートラックス、2着チカッパ、3着モズミギカタアグリとJRA勢が上位を独占。一方、2番人気イーグルノールは4着、3番人気エコロガイアは8着と敗れた。
エートラックスは3月31日に行われた阪神ダート1400mのオープン特別・バイオレットステークスを勝っていた。バイオレットステークスは兵庫チャンピオンシップとのレース間隔が、約1カ月とちょうどよく、今後もこのローテーションの馬には要注目だ。
チカッパは前走、3月10日に中京ダート1400mで行われたオープン特別・昇電ステークスを勝っていた。一方、イーグルノールは前走雲取賞で4着、エコロガイアは前走ブルーバードカップで2着という成績だった。ともに短距離の実績もあつたが、結果的にはここでは敗れた。つまり兵庫チャンピオンシップと近い時期に行われる1400mのオープン特別組が有利と言える。
モズミギカタアグリは転入初戦で東京2歳優駿牝馬以来の休み明けだった。この馬の場合は後にわかることだが、距離1400mがピッタリというタイプ。距離適性はかなり重要だ。

第37回 かしわ記念 Jpn I

5月5日(祝・月)

4歳以上 定量
船橋1600m
1着賞金 未定
フルゲート14頭24.5.1
船橋
1600m
雨・不良

4	5	シャマル(JRA)	牡6	57	川須栄彦	1.39.0	6人
2	2	タガノビューティー(JRA)	牡7	57	石橋 脩	2 1/2	5
7	10	ペプチドナイル(JRA)	牡6	57	藤岡佑介	3/4	3

単勝⑤1,170円 枠連複(2-4)4,530円 馬連複(2-5)4,790円 枠連単(4-2)8,950円
馬連単(5-2)11,670円 3連複(2-5-10)7,570円 3連単(5-2-10)77,040円

2	2	メイショウハリオ(JRA)	牡6	57	濱中 俊	1.39.3	2人
5	13	タガノビューティー(JRA)	牡6	57	石橋 脩	クビ	5
5	7	ハヤブササンデクン(JRA)	牡7	57	津村明秀	1/2	3

単勝②320円 枠連複(2-8)2,280円 馬連複(2-13)2,440円 枠連単(2-8)3,010円
馬連単(2-13)3,250円 3連複(2-7-13)3,160円 3連単(2-13-7)16,190円

1	1	ショウナンナデシコ(JRA)	牝5	55	吉田隼人	1.38.9	2人
2	2	ソリストサンダー(JRA)	牡7	57	戸崎圭太	1 1/2	5
3	3	ティエムサウスダン(JRA)	牡5	57	岩田康誠	3	1

単勝①410円 枠連複(1-2)1,620円 馬連複(1-2)1,610円 枠連単(1-2)2,350円
馬連単(1-2)2,510円 3連複(1-2-3)840円 3連単(1-2-3)5,220円

5	6	カジノフォンテン(船橋)	牡5	57	張田 昂	1.39.3	2人
8	11	ソリストサンダー(JRA)	牡6	57	戸崎圭太	ハナ	6
7	10	インティ(JRA)	牡7	57	武 豊	1 1/2	4

単勝⑥360円 枠連複(5-8)640円 馬連複(6-11)1,640円 枠連単(5-8)1,070円
馬連単(6-11)2,690円 3連複(6-10-11)3,490円 3連単(6-11-10)16,320円

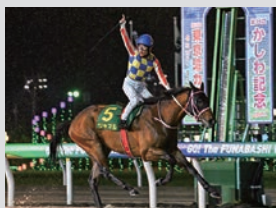
1	1	ワイドファラオ(JRA)	牡4	57	福永祐一	1.38.6	6人
4	4	ケイティブレイブ(JRA)	牡7	57	長岡慎仁	2	5
6	6	サンライズノヴァ(JRA)	牡6	57	武 豊	1 1/2	3

単勝①2,690円 馬連複(1-4)6,290円
馬連単(1-4)15,250円 3連複(1-4-6)4,600円 3連単(1-4-6)49,320円

●別路線組も勝機はある
過去5年の3着内馬15頭中14頭はJRA所属で、そのうち9頭の前走がフェブラリーステークス。2020年は3着以内を独占するなど、同レース組が毎年1頭は馬券に絡んでいる。ただ、着順が直結しないのがこのレースの特徴だ。20年はフェブラリーステークスで12着だったワイドファラオが、同2着ケイティブレイブと同3着サンライズノヴァを下して勝利。21年はソリストサンダーが8着から2着へ巻き返した。24年はフェブラリーステークスの覇者ペプチドナイルが3着に敗れ、4着だったタガノビューティーが2着と好走するなど、着順が入り替わるケースが頻繁に見られる。その要因はコース形態による適性の差にある。東京は末脚勝負で速い上がりが必要だが、船橋では先行力が求められる。一方で別路線組にも勝機がある。21年1着カジノフォンテン(船橋)は京成盃ブランドマイラーズで勝利。22年に牝馬で勝利したショウナンナデシコは、当時4歳以上も出走可能だったマリーナカップで1着。そして24年は黒船賞1着から挑んだシャマルが、ここでも逃げ切りを果たしてJpnI初制覇を飾った。21、22年のように前走船橋で勝利している馬はもちろん、他場のレースでも前走1着の好調馬が勝ちやすい。



写真●兵庫県競馬組合



写真●TCK

第25回
名古屋グランプリ
JpnⅡ
5月6日(振・火)
4歳以上 グレード別定
名古屋2100m
1着賞金 未定
フルゲート12頭



写真●愛知県競馬組合

24.5.6 名古屋 2100m 曇・良	7 ⑩ ノットウルノ (JRA) 牡5 58 武 豊 R 2.10.9 1人気 2 ② ヒロイックティル (高知) セン7 56 多田龍誠也 8 7 8 ⑪ キリンジ (JRA) 牡4 56 和田竜二 2 1/2 3 単勝⑩ 200円 枠連複(2-7)16,140円 馬連複(2-10)16,190円 馬連単(10-2)23,130円 3連複(2-10-11)13,020円 3連単(10-2-11)92,190円
23.12.21 名古屋 2100m 晴・良	8 ⑫ ディクテオン (JRA) セン5 57 岡部 誠 R 2.12.4 2人気 5 ⑥ グランブリッジ (JRA) 牝4 55 川田将雅 2 1 1 ① テリオスベル (JRA) 牝6 54 江田照男 6 5 単勝⑫ 240円 枠連複(5-8)240円 馬連複(6-12)280円 馬連単(12-6)480円 3連複(1-6-12)730円 3連単(12-6-1)2,300円
22.12.8 名古屋 2100m 晴・良	7 ⑨ ペイシャエス (JRA) 牡3 55 菅原明良 2.15.1 1人気 6 ⑧ ヴァンヤール (JRA) 牡4 56 荻野 極 ハナ 5 2 ② ラーゴム (JRA) 牡4 56 鮫島克駿 3 4 単勝⑨ 230円 枠連複(6-7)740円 馬連複(8-9)780円 馬連単(9-8)1,180円 3連複(2-8-9)1,040円 3連単(9-8-2)4,250円
21.12.23 名古屋 2500m 晴・稍重	8 ⑪ ヴェルデックス (JRA) 牡4 56 横山武史 2.45.4 1人気 7 ⑧ ケイアイパープル (JRA) 牡5 56 松山弘平 2 1/2 2 4 ④ ダンビュライト (JRA) セン7 57 松若風馬 4 4 単勝⑪ 210円 枠連複(7-8)260円 馬連複(8-11)260円 馬連単(11-8)510円 3連複(4-8-11)830円 3連単(11-8-4)2,710円
20.12.10 名古屋 2500m 晴・良	7 ⑩ マスターフェンサー (JRA) 牡4 56 川田将雅 2.44.8 1人気 5 ⑥ ロードゴラツ (JRA) 牡5 56 C.メーラー 2 2 7 ⑨ ダイシンインディー (JRA) 牡4 56 岩田康誠 1 6 単勝⑩ 140円 枠連複(5-7)160円 馬連複(6-10)200円 馬連単(10-6)280円 3連複(6-9-10)1,890円 3連単(10-6-9)3,820円

●前走川崎記念組が中心

名古屋競馬場の移転に伴い、2022年から新コースとなり、距離は2100mに短縮。さらに24年からは施行時期が12月上旬から5月上旬となり、4歳以上による一戦となった。よって現状、過去データは24年の1回分しかない。

その前回は1着ノットウルノ(1番人気)→2着ヒロイックティル(7番人気)→3着キリンジ(3番人気)という結果。ノットウルノの近2走は佐賀記念1着、川崎記念6着。4着に敗れたが2番人気のディクテオンは近2走、ダイオライト記念4着、川崎記念4着の成績だった。川崎記念も施行時期が4月に変わったので、前走川崎記念組は今後も有力候補になるだろう。2000m以上のダートグレードで勝利した経験があり、GI/JpnIでも好走実績があれば一層信頼できる。

2着ヒロイックティル(高知)は前走までJRA所属だった。ただ、約2年馬券圏内がなく、前走仁川ステークスは13着と惨敗していた。人気になる要素があまり見当たらず、7番人気という評価も仕方ない。ただ、2100mを3勝しており、距離に関して不安はなかった。

3着キリンジは2走前の佐賀記念でノットウルノの2着。年長馬とのダートグレードで初めて好走し、ここでも通用するメドを立てていた。

第71回
エンプレス杯
JpnⅡ
5月14日(水)
4歳以上牝馬 定量
川崎2100m
1着賞金 未定
フルゲート14頭

24.5.8 川崎 2100m 雨・稍重	7 ⑩ オーサムリザルト (JRA) 牝4 55 武 豊 2.14.5 1人気 4 ④ グランブリッジ (JRA) 牝5 55 川田将雅 クビ 3 1 ① キャリッカリード(大井) 牝5 55 御神本訓史 2 7 単勝⑩ 260円 枠連複(4-7)370円 馬連複(4-10)480円 枠連単(7-4)600円 馬連単(10-4)740円 3連複(1-4-10)4,130円 3連単(10-4-1)12,030円
23.3.1 川崎 2100m 曇・良	2 ② グランブリッジ (JRA) 牝4 56 川田将雅 2.18.7 1人気 1 ① ヴァレーデラルナ (JRA) 牝4 57 岩田望来 2 1/2 2 6 ⑥ テリオスベル (JRA) 牝6 55 江田照男 クビ 3 単勝② 160円 枠連複(1-2)190円 馬連複(1-2)190円 枠連単(2-1)250円 馬連単(2-1)280円 3連複(1-2-6)280円 3連単(2-1-6)770円
22.3.2 川崎 2100m 晴・良	4 ④ ショウナンナデシコ (JRA) 牝5 55 吉田準人 2.15.7 1人気 8 ⑫ サルサディオネ(大井) 牝8 56 矢野貴之 1 1/2 2 9 ⑨ レヌブランシュ (JRA) 牝5 56 川田将雅 クビ 3 単勝④ 210円 枠連複(4-8)510円 馬連複(4-12)550円 枠連単(4-8)940円 馬連単(4-12)950円 3連複(4-9-12)890円 3連単(4-12-9)3,570円

●川崎記念や兵庫女王盃組が中心

ダート競走の体系整備により、2024年から施行時期が3月上旬から5月になり、上半期における古馬牝馬路線の最大目標となった。23年以前はTCK女王盃組が有力だったが、24年からは兵庫女王盃が直近の牝馬ダートグレードとなり、同レース4着のキャリッカリード(大井)が7番人気で3着に入った。今後も同レース組は、連対馬はもちろんだが、巻き返しにも警戒したい。

24年は前走川崎記念2着のグランブリッジが3番人気で2着と好走。川崎記念組も以前から有力であり、傾向は変わっていない印象だ。グランブリッジを抜かして勝利したのはオーサムリザルト。デビューから無傷の5連勝中という特別な馬で1番人気に見事応えた。

第61回
関東オークス
JpnⅡ
6月18日(水)
3歳牝馬 定量
川崎2100m
1着賞金 未定
フルゲート14頭

24.6.12 川崎 2100m 晴・良	6 ⑥ アンデスピエント (JRA) 牝3 55 田口貢太 2.18.5 1人気 8 ⑩ ミスカッレーラ (船橋) 牝3 55 御神本訓史 7 6 7 ⑦ グラインドアウト(高知) 牝3 55 赤岡修次 1/2 8 単勝⑥ 210円 枠連複(6-8)1,770円 馬連複(6-10)1,460円 枠連単(6-8)2,390円 馬連単(6-10)2,170円 3連複(6-8-10)57,740円 3連単(6-8-10)178,750円
23.6.14 川崎 2100m 曇・稍重	7 ⑩ パライバルマン (JRA) 牝3 54 戸崎圭太 2.20.4 3人気 3 ③ クレメダンジュ (JRA) 牝3 54 和田竜二 1 5 7 ⑪ メイショウオーロラ (JRA) 牝3 54 横山典弘 3/4 1 単勝⑩ 420円 枠連複(3-7)780円 馬連複(3-10)1,930円 枠連単(7-3)1,220円 馬連単(10-3)3,220円 3連複(3-10-11)1,680円 3連単(10-3-11)11,660円
22.6.15 川崎 2100m 曇・稍重	5 ⑦ グランブリッジ (JRA) 牝3 54 福永祐一 2.16.3 4人気 7 ⑩ ラブパイロー (JRA) 牝3 54 山崎誠士 3 5 1 ① スピーディキップ(浦和) 牝3 54 御神本訓史 1/2 1 単勝⑦ 520円 枠連複(5-7)600円 馬連複(7-10)1,520円 枠連単(5-7)1,370円 馬連単(7-10)3,730円 3連複(1-7-10)1,880円 3連単(7-10-1)11,900円

●JRAが優勢だが地方馬もマーク必須

過去5年で3着以内に入った15頭のうちJRA馬は10頭。JRA勢が優勢なのは間違いないが、上位を独占したのは2023年だけだ。基本的にこれまでのダート実績が重要で、鳳雛ステークスや伏魔ステークスといったJRAの中距離・オープン特別で好走実績がある馬が最有力だ。しかし、目新しいオープン実績馬がいない場合は1勝クラスの勝ち方が強かった馬や、能力が高そう馬を見定めていくしかない。

3着以内に入った地方馬5頭中3頭は前走東京プリンセス賞の1着馬。24年2着ミスカッレーラ(船橋)は同4着と、勝てないくても要注意。同馬の場合はこのレースと相性がいいエーピーインディ系のシンスターミニスター産駒だった。

第29回
さきたま杯
JpnⅠ
6月25日(水)
3歳以上 定量
浦和1400m
1着賞金 未定
フルゲート12頭



写真●NAR

24.6.19 浦和 1400m 晴・重	6 ⑦ レモンポップ (JRA) 牡6 57 坂井瑠星 1.26.7 1人気 5 ⑤ イグナイター(兵庫) 牡6 57 笹川 翼 2 3 2 ② シャマル (JRA) 牡6 57 川須栄彦 1/2 2 単勝⑦ 120円 枠連複(5-6)340円 馬連複(5-7)360円 枠連単(6-5)410円 馬連単(7-5)410円 3連複(2-5-7)330円 3連単(7-5-2)900円
23.5.31 浦和 1400m 晴・重	3 ③ イグナイター(兵庫) 牡5 56 笹川 翼 1.25.3 7人気 4 ④ スマイルウィ (船橋) 牡6 56 矢野貴之 クビ 5 8 ⑧ パスラットレオン (JRA) 牡5 57 坂井瑠星 1 1/2 3 単勝③ 2,000円 枠連複(3-4)10,140円 馬連複(3-4)6,280円 枠連単(3-4)16,190円 馬連単(3-4)21,950円 3連複(3-4-9)11,690円 3連単(3-4-9)103,970円
22.6.1 浦和 1400m 曇・良	8 ⑩ サルサディオネ(大井) 牝8 55 矢野貴之 1.25.3 5人気 5 ⑤ ティーズダング(浦和) 牡5 56 和田譲治 アタマ 3 6 ⑥ シャマル (JRA) 牡4 56 川須栄彦 アタマ 2 単勝⑩ 1,050円 枠連複(5-8)1,630円 馬連複(5-10)3,400円 枠連単(8-5)3,250円 馬連単(10-5)7,160円 3連複(5-6-10)3,570円 3連単(10-5-6)31,790円
21.6.3 浦和 1400m 曇・良	1 ① アルクトス (JRA) 牡6 58 田邊裕信 1.24.9 1人気 2 ② エアスピネル (JRA) 牡8 56 鮫島克駿 1/2 2 4 ④ ワイドファロ (JRA) 牡5 58 福永祐一 2 1/2 3 単勝① 220円 枠連複(1-2)540円 馬連複(1-2)500円 枠連単(1-2)890円 馬連単(1-2)740円 3連複(1-2-4)470円 3連単(1-2-4)2,100円
20.5.27 浦和 1400m 晴・良	5 ⑤ ノボバカラ (JRA) 牡8 56 森 泰斗 1.25.8 7人気 7 ⑨ ブルドッグボス(浦和) 牡8 58 御神本訓史 1 2 4 ④ ノブワイルド(浦和) 牡8 56 左海誠二 1 6 単勝⑤ 1,730円 枠連複(5-7)1,110円 馬連複(5-9)1,830円 枠連単(5-7)4,210円 馬連単(5-9)6,370円 3連複(4-5-9)5,010円 3連単(5-9-4)54,360円

●前走海外組にも注目

2024年からJpnⅡに昇格し定量戦となった。その昨年は1着レモンポップ(1番人気)→2着イグナイター(3番人気)→3着シャマル(2番人気)と堅い決着。レモンポップはサウジカップ(12着)以来、約4カ月の休み明け。イグナイターはドバイゴールデンシャヒーン(5着)以来、3カ月弱りの実戦だった。23年3着パスラットレオンもゴドルフィンマイルに出走(4着)しており、前走海外組は今後も注目したい。本競走の施行時期が6月中旬に繰り下がった関係で、中東などからの帰国馬も調整期間が取りやすくなったと言えるかもしれない。

前走で国内だった馬はかしわ記念やフェブラリーステークス組が有力。距離1400mはスプリンター、マイラーのどちらでもこなしやすいが、さきたま杯においてはマイラーの方が圧倒的に好走馬は多い印象だ。またコース形態上、差し馬よりも先行馬が有利だ。

南関東所属馬も十分戦える。別定戦のJpnⅡ時代とはいえ、20年は2着ブルドッグボス・3着ノブワイルド、22年2着ティーズダングと地元浦和の馬が活躍。また、22年1着サルサディオネ(大井)、23年2着スマイルウィ(船橋)が連対。浦和1400mで実績がある馬は特に注意だ。

開催日程

☆☆ ナイター開催時の投票開始時間 ☆☆☆
名古屋・兵庫(園田)・高知…………… ナイター開催当日10:00～
ばんえい帯広、佐賀、ホッカイドウ、南関東…………… ナイター開催当日12:00～

DG ダートグレード開催日 重賞 重賞開催日
●: デイ開催 ●: 薄暮取扱 ●: ナイター取扱

4月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	
ばんえい 帯 広																															
岩 手 盛岡/水沢																															
金 沢																															
笠 松																															
名 古 屋																															
兵 庫 園田/姫路																															
高 知																															
佐 賀																															
北海道・ 南関 DG																															

5月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31		
	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土		
ばんえい 帯 広			● 重賞	●						●	●	●					●	●	●					●	●	●					●	ばん えい	
岩 手 盛岡／水沢			盛岡 ● 重賞	盛岡 ●	盛岡 ●	盛岡 ●	盛岡 ●				盛岡 ●	盛岡 ●	盛岡 ●					盛岡 ● 重賞	盛岡 ●	盛岡 ●					盛岡 ● 重賞	盛岡 ●	盛岡 ●					岩手	
金 沢					●	●					重賞 ●		●					重賞 ●		●							●	●				金沢	
笠 松	●	●											●	●	重賞 ●	●													●	●		笠松	
名 古 屋					重賞 ●	DG ●	●	●	●											●	●	●	●									名古屋	
兵 庫 園田／姫路	園田 DG				園田 重賞	園田 ●	園田 ●	園田 重賞						園田 ●	園田 ●	園田 ●					園田 ●	園田 重賞	園田 ●					園田 ●	園田 ●	園田 ●		兵庫	
高 知			● 重賞								●	●						●	●						● 重賞							●	高知
佐 賀			● 重賞								●	●	●					●	重賞 ●						●	●	●					●	佐賀
北海道・ 南関 DG					船橋 DG																											北海道・ 南関	

6月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	
ばんえい 帯 広																															
岩 手 盛岡/水沢																															
金 沢																															
笠 松																															
名 古 屋																															
兵 庫 園田/姫路																															
高 知																															
佐 賀																															
北海道・ 南関 DG																															

※日程は変更となる場合がございますのでご注意ください。
※ホッカイドウ競馬、南関東地区で行われるダートグレード競走については、市中銀行会員のみ投票できます。

重賞&ダートグレード日程 (2025年4月～6月)

4月	競馬場	実施日	競走名	重賞	競走条件	距離	備考
	笠 松	1(火)	第2回 ネクストスター中日本	重賞	3歳	1,400	北陸・東海地区交流
	園 田	2(水)	第57回 菊水賞	重賞	3歳	1,700	
	園 田	3(木)	第2回 兵庫女王盃JpnⅢ	DG	4歳以上牝馬	1,870	中央・地方全国交流
	水 沢	6(日)	第2回 ネクストスター北日本	重賞	3歳	1,400	北海道・東北地区交流
	佐 賀	6(日)	第24回 ル・プランタン賞	重賞	3歳牝馬	1,800	地方全国交流
	名古屋	8(火)	第65回 東海桜花賞	重賞	4歳以上	2,100	地方全国交流
	川 崎	9(水)	第74回 川崎記念JpnI	DG	4歳以上	2,100	中央・地方全国交流
	名古屋	10(木)	第31回 東海クイーンカップ	重賞	3歳牝馬	1,700	地方全国交流
	金 沢	13(日)	第35回 金沢スプリングカップ	重賞	4歳以上	1,500	
	高 知	13(日)	第41回 二十四万石賞	重賞	4歳以上	1,900	
	佐 賀	13(日)	第2回 佐賀がばいスプリント	重賞	3歳以上	1,300	
	水 沢	15(火)	第50回 赤松杯	重賞	4歳以上	1,600	
	大 井	16(水)	第36回 東京スプリントJpnⅢ	DG	4歳以上	1,200	中央・地方全国交流
	笠 松	17(木)	第7回 飛山濃水杯	重賞	4歳以上	1,400	北陸・東海・近畿・四国・九州地区交流
	水 沢	20(日)	第25回 留守杯日高賞	重賞	3歳牝馬	1,600	地方全国交流
	金 沢	20(日)	第6回 ノトキリシマ賞	重賞	3歳牝馬	1,500	
	佐 賀	20(日)	第9回 佐賀ヴィーナスカップ	重賞	4歳以上牝馬	1,750	地方全国交流
	帯 広	27(日)	第19回 ばんえい十勝オッズパーク杯	重賞	4歳以上	200	
	水 沢	27(日)	第37回 栗駒賞	重賞	3歳以上	1,400	
	金 沢	27(日)	第6回 利家盃	重賞	4歳以上	2,000	
	笠 松	29(祝・火)	第51回 新緑賞	重賞	3歳	1,400	
5月	競馬場	実施日	競走名	重賞	競走条件	距離	備考
	園 田	1(木)	第26回 兵庫チャンピオンシップJpnⅡ	DG	3歳	1,400	中央・地方全国交流
	帯 広	4(祝・日)	第18回 カーネーションカップ	重賞	3歳以上牝馬	200	
	盛 岡	4(祝・日)	第45回 ダイヤモンドカップ	重賞	3歳	1,800	北海道・東北・南関東地区交流
	高 知	4(祝・日)	第29回 黒潮皐月賞	重賞	3歳	1,400	
	佐 賀	4(祝・日)	第13回 佐賀皐月賞	重賞	3歳	1,800	
	船 橋	5(祝・月)	第37回 かしわ記念JpnI	DG	4歳以上	1,600	中央・地方全国交流
	名古屋	5(祝・月)	第64回 駿蹄賞	重賞	3歳	2,000	
	園 田	5(祝・月)	第61回 兵庫大賞典	重賞	4歳以上	1,400	
	名古屋	6(振・火)	第25回 名古屋グランプリJpnⅡ	DG	4歳以上	2,100	中央・地方全国交流
	園 田	8(木)	第2回 西日本クラシック	重賞	3歳	1,870	北陸・東海・近畿・四国・九州地区交流
	金 沢	11(日)	第6回 お松の方賞	重賞	3歳以上牝馬	1,500	北陸・東海地区交流
	川 崎	14(水)	第71回 エンプレス杯JpnⅡ	DG	4歳以上牝馬	2,100	中央・地方全国交流
	笠 松	15(木)	第34回 オグリキャップ記念	重賞	4歳以上	1,400	地方全国交流
	盛 岡	18(日)	第50回 シアンモア記念	重賞	3歳以上	1,600	
	金 沢	18(日)	第33回 北日本新聞杯	重賞	3歳	1,700	
	佐 賀	18(日)	第8回 佐賀スプリングカップ	重賞	3歳以上	1,800	
	園 田	22(木)	第63回 のじく賞	重賞	3歳牝馬	1,700	地方全国交流
	盛 岡	25(日)	第13回 イーハートブマイル	重賞	3歳	1,600	
	高 知	25(日)	第16回 福永洋一記念	重賞	4歳以上	1,600	地方全国交流
6月	競馬場	実施日	競走名	重賞	競走条件	距離	備考
	盛 岡	1(日)	第26回 あすなろ賞	重賞	3歳以上	1,800	
	佐 賀	1(日)	第67回 九州優駿栄城賞	重賞	3歳	2,000	
	名古屋	4(水)	第55回 東海優駿	重賞	3歳	2,100	
	園 田	5(木)	第63回 六甲盃	重賞	4歳以上	1,870	地方全国交流
	水 沢	8(日)	第33回 東北優駿	重賞	3歳	2,000	
	金 沢	8(日)	第68回 百万石賞	重賞	3歳以上	2,100	
	笠 松	12(木)	第8回 ぎふ清流カップ	重賞	3歳	1,400	北陸・東海・近畿・四国・九州地区交流
	帯 広	15(日)	第33回 北斗賞	重賞	3歳以上	200	
	水 沢	15(日)	第10回 早池峰スーパースプリント	重賞	3歳以上	850	
	金 沢	15(日)	第9回 石川優駿	重賞	3歳	2,000	
	佐 賀	15(日)	第8回 佐賀王冠賞	重賞	3歳以上	2,000	
	川 崎	18(水)	第61回 関東オークスJpnⅡ	DG	3歳牝馬	2,100	中央・地方全国交流
	園 田	19(木)	第15回 園田FCスプリント	重賞	3歳以上	820	近畿・四国・九州地区交流
	水 沢	22(日)	第49回 ウイナーカップ	重賞	3歳	1,400	
	高 知	22(日)	第53回 高知優駿	重賞	3歳	1,900	
	浦 和	25(水)	第29回 さきたま杯JpnI	DG	3歳以上	1,400	中央・地方全国交流
	名古屋	26(木)	第31回 トリトン争覇	重賞	3歳以上	1,500	
	園 田	26(木)	第26回 兵庫優駿	重賞	3歳	1,870	
	帯 広	29(日)	第19回 柏林賞	重賞	4歳	200	
	水 沢	29(日)	第53回 一條記念みちのく大賞典	重賞	3歳以上	2,000	
	金 沢	29(日)	第12回 加賀友禅賞	重賞	3歳牝馬	1,400	
	佐 賀	29(日)	第5回 佐賀ユースカップ	重賞	3歳	1,400	

※開催内容が変更となる場合がございますのでご注意ください。

昨年度優勝馬：ノットゥルノ
騎手：武豊

春の華の古馬戦

2025年5月6日(火・振休)

名古屋競馬場

名古屋グランプリ(JpnⅡ)

4歳以上/2,100m

写真の提供：愛知県競馬組合

キャンペーン開催決定!

詳細は4月下旬オッズパークサイトにて公開!

●オッズパークで投票できる勝馬投票券

すべてのレースに投票できます

競馬場	場番号	最大出走頭数	単勝(単)	複勝(複)	連勝複式		連勝単式		三連勝		重勝式			投票方式			
					枠番	馬番	枠番	馬番	三連複	三連単	セレクト5	セレクト7	ランダム7	電話投票ARS	インターネット投票		
					枠番	馬番	枠番	馬番	三連複	三連単	セレクト5	セレクト7	ランダム7	電話投票ARS	オッズパーク投票	クラシック投票	スマートフォン投票
ばんえい帯広	03	10	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
盛岡	11	16	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
水沢	12	12	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
金沢	41	12	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
笠松	42	12	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
名古屋	43	12	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
園田	51	12	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
姫路	52	12	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
高知	55	12	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
佐賀	61	12	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●

※販売賭式は変更になる場合がございます。 ※重勝式は、インターネット投票(クラシック投票は除く)のみ投票できます。

ダートグレード競走のみ投票することができます(市中銀行会員のみ投票できます)

ホッカイドウ門別	06	16	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
浦和	31	12	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
船橋	32	14	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
大井	33	16	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
川崎	34	14	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●

オッズパーク
サポートセンター

電話 0570-006889 (ナビダイヤル) / 03-6837-4500 FAX 098-851-0988

受付時間 10:00~21:00(ナイター非開催日は17:30まで) ※施設点検日およびメンテナンス日は休業

インターネット投票

パソコン
<https://www.oddspark.com/>

スマートフォン
<https://sp.oddspark.com/>

電話投票

0570-011100(ナビダイヤル)
03-6833-0111

※投票はどちらの投票用電話番号でもご利用になれます。

レース結果案内(全主催者共通)

0570-011555(ナビダイヤル)
03-6748-0100
03-6748-0101

※番号をよくご確認のうえ、お間違えのないようお願いいたします。

※ナビダイヤル(「0570」で始まる電話番号)は、一部の携帯電話・PHSからはご利用になれません。また、NTT以外の電話会社と契約されている場合はご利用いただけない場合がございます。

※ナビダイヤル(「0570」で始まる電話番号)の通常電話からの通話料金は、全国一律で一般電話からは1分10円、携帯電話からは20秒10円です。